

平成 30 年度岩手県中堅期保健師研修会公開講座（一般）アンケート集計

○ アンケート数 13 名 ○ 回答数 8 名 ○ 回答率 66.7%

I 講演内容について

大変有意義（6名） 有意義（2名） 既に承知の内容（0名） 参考とならなかった（0名）

II 活動成果の発表は あなたの期待に沿っていましたか？

たいへん満足（2名） 満足（3名） やや不満（1名） たいへん不満（0名） 未記入（2名）

※やや不満、大変不満の方の理由

- ・具体的な取り組み内容、予算確保、人材の確保等についても触れられると良かった。実際の現場ではそこまで求められるし、学びたかった。

III 講演、コンサルテーションプログラムの提言に感想をお聞かせください。

- ・発表者の皆さんが事業や活動を振り返り今後の提言をされていたことが、勉強になった。日々の業務の中で当たり前のように出来るよう学びを深めていきたい。アドバイザー、コンサルタントの意見をもとに事業を見直しできることは大変貴重と思う。
- ・研修に参加できない保健師でも、担当している事業を職場の先輩以外にも相談できる、助言を得られると心強いと感じている。
- ・講演では連携や情報共有、結び目機能が印象に残った。「この現状、これでいいの保健師さん」の言葉、「知識と技術が、食い下がる保健師になるために必要」との話が胸に刺さった。この言葉を今後忘れないようにしたい。
- ・中板先生の講演が非常に参考になった。
- ・活動成果の発表も事業で参考にしていきたい。
- ・時間が限られる中で、提言について各職場からの支えた経過や今後の計画など加えて発表していただければ内容の理解が深まるのではないかと思った。職場のサポートも大変だったと思う。コンサルタント終了後の経過報告など伺う機会があると業務の参考にさせてもらえると思った。
- ・発表者の皆さんが自身の業務をより具体的に見つめ、現状と課題を確認し政策提言にいたるプロセスを経験することがスキルアップにつながり、自信になると感じた。発表態度も好感が持てた。大変な作業だったと推察するが、本人はもとより支援して下さった関係者のご尽力にも感謝したいと思う。
- ・中堅期保健師として当事業に参加させたい考えはあるものの、当の保健師の意欲を促すことに苦慮している。組織的にその時期参加すべき研修として位置づけたく、今後取り組みたいと考えている。
- ・自分がこれからどう行動するか、保健師とはというところを改めて考えることが出来た。なえた心がまた復活した。
- ・対象を広く捉えてかかわることの必要を感じた。

IV 会場や開催時期・時間について

- ・道路事情が悪く、時間がかかり危険。公共交通が利用しやすい会場にしていただけると良い。

V 今後、取り上げてほしいテーマについて

- ・業務分担制の中で、どのようにして“地域を見る力”をつけていくか、自身もそうだが、後輩育成の視点からも行政の保健師の配置基準等について学びたい。
- ・人材育成計画